

# 業務部速報



No. 65

発行 21. 10. 18

JR東労組 業務部

新幹線統括本部

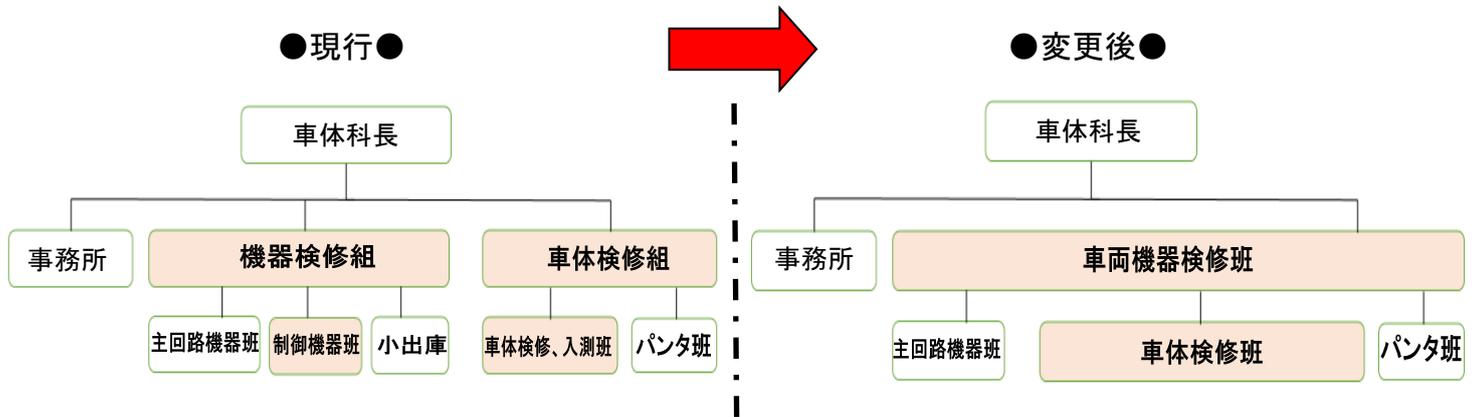
## 「車両メンテナンス業務の一部委託について」の提案を受ける!

### 提案内容

#### <目的>

グループ全体の持続的な成長と効率的な業務運営を目的に、新幹線総合車両センター車体科の業務を一部委託する。

1. 実施事項 ・弱電機器、空制装置検修作業を部外委託する。 ・入場測定作業を部外委託する。
2. 車体科の業務体制(組体制)を変更する。



3. 実施時期 2022年 4月 1日

#### 4. スケジュール

10月	11月	12月	2022年1月	2月	3月	4月
社員説明			教育関係	実施準備及び要領、契約関係整備		★4月1日実施

提案時における議論の特徴点は下記のとおりです!

組合 エルダーが働く場の確保の考えはあるのか。	会社 エルダーの雇用先という側面もある。
弱電機器、空制装置検修作業の委託の機器名は何か。	BCU、SRD、S-TIMS、ATCも含まれる。主回路は含まれない。
BCU、ATC、S-TIMSは安全に直結する。委託しても安全は確保できるのか。	試験器で良否判定ができる。車両の運行可否、その危機の最終的な検査は落成検査でJR本体が変わりなく行う。
委託会社では業務量を受け入れられる体制は確保できるのか。本体の技術をどのように確保するのか。	グループ全体で技術を確保していくことは変わらない。今後、JR本体として担うフィールドが変わってきている。品質保証を含めてデータ解析等が担うべき業務と考える。
教育スケジュールの詳細の考えはあるか。	基本的には入場した車両に合わせて、入場測定作業も弱電機器作業の教育も行う。具体的にはグループ会社と調整する。

## 職場に技術力を定着させるために職場から議論をつくり出そう!